

避難先の考え方

自宅が安全な場合は、「在宅避難」が可能です。
安全でない場合の避難先を決めて、
個別避難計画に書いておきましょう。

葛飾区
水害ハザードマップ
解説編はこちら▶



〈水害〉 ◆お住いの場所による避難の考え方

自宅の階層	1 階	2 階以上
内水氾濫	避難（半日～1 日）	在宅避難が可能
中川氾濫	避難（3～7 日間） （西部地域）	在宅避難が可能（3～7 日間）
	（東部・南部地域）	
複数河川の氾濫 （高潮による氾濫も 含む）	広域避難を検討 <div>ハザードマップ解説編 P.38</div> → 浸水しない地域や建物を確認	

◆水害の種類の特徴と対応

	特 徴	避 難 先
内水氾濫 ・短時間の大雨 ・マンホールからあふれる	・短時間で水があふれる ・区内のほぼ全域（浸水深 0.5m～2m 未満） ・半日～1 日で水が引く ハザードマップ解説編 P.36	●高いところ（一時的） ・2 階以上の建物（自宅含む） ・洪水緊急避難建物（小中学校等） ・一時滞在施設（地区センター等）
中川氾濫 ・中川上流で氾濫	・24 時間後に西部地域に洪水が到達（浸水深 0.5m～3m 未満） ・3～7 日間は水が引かない ハザードマップ解説編 P.19	●高いところ（3～7 日間） ・2 階以上、滞在できる建物（自宅、親戚・知人宅、ホテル） ●浸水の恐れがない地域 ・葛飾区東部・南部地域・区外 （小中学校等指定避難所、親戚・知人宅、ホテルなど）
複数河川の氾濫 ・2 つの川で氾濫 ・中川も危険	・1 日前…広域避難指示発令 ・区内の全域が浸水 ・3～14 日間水が引かない ハザードマップ解説編 P38	●浸水の恐れがない地域・階層 ・親戚・知人宅、ホテルなど 原則、区外に広域避難

〈震災〉

●自宅が焼失・倒壊（損壊）し、生活できない ●近くで火災が発生し延焼の危険性がある
（一時集合場所 →） 避難場所 → 指定避難所（小中学校等）